

# 9月29日 接着の日

PR

9月29日は「接着の日」。「くつづく(のひの)」の語呂合わせで、日本接着剤工業会が2010年に制定。接着剤が社会に果たす役割を広く知つてもらう機会とした。接着剤は目に見えないが、社会・生活のあらゆるところで活躍している。軽量・薄型化、省エネルギー化、デジタル化などの技術革新にも、多くの接着技術が貢献し、その適用領域はますます広がっている。

## 広がる適用領域

接着剤を使った接着接合は、ねじや溶接と並び、モノづくりに活用される接合方法の一つ。その用途は日常生活から建築、電機・電子機器、自動車、航空機、ロケットまで幅広い。

接着による効果は軽量・薄型化や異種材料との接合、高機能化など。その接合方法の一例が挙げられる。航空機では、リベット接合よりも空気抵抗が少なくて機体が軽量化できるため、飛行速度や燃費の向上に貢献する。電

子機器の組み立てなどでは小型・軽量化、大容量化を支える。近年は、航空機で使われる構造接着技術が自動車車体の接合にも適用されている。溶接では難しい異種材料の接着剤の適用範囲が広がるにつれ、接着剤メーカーは安全で高品質な製品の供給だけではなく、環境・安全に関する規制強化へ対応しながらはラインアンスに務めている。

こうしたさまざまな場所で使われる接着剤の種類は多種多様。接着剤の適用範囲が広がるにつれ、接着剤メーカーは安全で高品質な製品の供給だけではなく、環境・安全に関する規制強化へ対応しながらはラインアンスに務めている。

## オーエムヒーター

オーエムヒーターの「シリコンラバーヒーター」シリーズは、柔軟性の高さが特徴のシート状ヒーター。独自の製法で1枚のオーダーから量産品まで幅広く手がける。主力製品の「マグネットタイプ」は片面にネオジム製マグネットシートを採用。磁石のくっつく場所であれば簡単に設置、貼り付けが可能で

製品の素材を変えずに磁力を2倍に向上させた。200度C以下の使用環境では減磁率を最大でも10%に抑えられる。同製品は機械の油圧ユニットの保温や樹脂金型の予熱などをさまざまな場所で使われて

いる。このほかにも半導体製造装置や医療機器、航空機の補修など幅広い産業に納入実績がある。

ヒーター応用例 Heater Application example

# えっ!こんな所に O&Mヒーター

マグネットタイプ

磁石で  
ぴったり  
予熱  
ヒーター

溶接前に該当箇所を  
ヒーターで温め  
温度をある程度あげてから溶接

磁力向上で減磁率低下!

サイズも形状も自由自在

- 表面温度200°Cまで可能です。
- 柔軟性があり、軽量タイプです。
- 1枚からオーダー承ります。

オーエムヒーター 株式会社  
<https://www.om-heater.jp>  
0120-800-255  
TEL (052) 804-3140 FAX (052) 804-3146